

CASE ② 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス (埼玉県杉戸町・神奈川県海老名市)

厚生労働省の認定を受けた全国法人第1号

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンスは2009年4月、全国で初めてとなる厚生労働省所管の社会医療法人に認定されました。埼玉県と神奈川県で3つの病院を中心に保健・医療・介護のトータルサービスの提供に尽力してきた同法人は、社会医療法人の認定を受け、経営基盤の安定化をペースに、さらなる地域完結型医療の中核となることをめざしています。



社会医療法人の認定と同時に直営での運営を開始したコンビニエンスストア。今後は収益事業にも力を入れていくという

地域支援と透明性確保をめざし  
社会医療法人の認定を申請

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンスは、急性期を担う東埼玉総合病院(埼玉県杉戸町、193床)と海老名総合病院(神奈川県海老名市、469床)、その受け皿となる海老名メディカルサポートセンター(同市、155床)をもつほか、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、在宅介護支援センターなどの介護事業も手がけています。

同法人は、急性期から在宅介護まで地域から必要とされる機能および規模の拡大を図ってきました。2004年3月に特定医療法人に承認され、08年2月には海老名総合病院が地域医療支援病院の認可を受けました。同法人がめざしているのは、地域医療を支える透明性のある医療法人です。これを具現化するべく、09年4月、全国法人としては初となる社会医療法人の認定を受けました。

全国法人の場合、都道府県ではなく厚生労働省所管となり、事業を展開する都道府県にある医療施設それぞれが認定要件を満たす必要があります。同法人では、以前から同族経営などの問題はクリアしていました。救急医療等確保事業に関しては、海老名総合病院では救急医療と周産期医療、

いずれの要件も満たしていた一方、東埼玉総合病院には産婦人科がないため、救急医療での認定を受けました。法人本部の田島哲夫理事はこう話します。

「全国法人での認定ですので、海老名総合病院、東埼玉総合病院のいずれか1病院でも要件を満たせなければ、すべて取り消されるリスクがあります。救急の年間の受け入れ数は前者が約2,000件、後者が約900件。救急搬送件数の認定要件がありますので、これまで以上に職員の責任感を高めていく必要があると感じています」

優遇措置で得た資金を再投資し  
公共性と永続性のある発展を図る

社会医療法人に認められた収益業務に関しては、4月1日から海老名総合病院内のコンビニエンスストアを直営に変更。9月7日には、駐車場の一角に患者さんや職員が食事や休憩をとることのできるレストランをオープンしました。また、収益業務を専門とするヘルスケアビジネス事業部(HB事業部)を立ち上げ、医師監修によるサプリメントや



田島哲夫理事

化粧品、アロマセラピーに関する製品の開発および販売、ネットショップの運営等も検討しているとのことです。

「本業で収益を上げるのは難しい状況であるだけに、何らかの収益業務の必要性を感じています。現在は、HB事業部を中心に、さまざまなアイデアを考えると同時に、患者さんに対するアンケート調査などマーケティングを行いながら、どんなものが受け入れられるか、模索している段階です」と田島理事は説明します。新たな資金調達方法として可能となる「社会医療法人債」に関しては、外部監査の受審や退職給付会計の障壁があることから現状ではまだ考えていないといいます。

一方、税制面に関しては、当該医療保健業に係る法人税の非課税はそれほど影響がないものの、2病院あわせて約5,000万円にもなる固定資産税の非課税に関しては大きいといいます。収益業務や税制面での優遇措置で生まれる資金に関しては、経営の安定化を図るために充当すると同時に病院機能の充実にも再投資する考えです。

「医療の質を向上させ、患者さんに対するサービスを高めて地域医療の安定化を図るには、優秀な人材の確保や新しい医療機器の導入はもちろん、職場環境やアメニティーを充実させなければなりません。これを継続していくには、適正利益を出して再投資を繰り返していく必要があります。つまり健全な財政基盤なくして、医療サービスの質の向上はありえない」と田島理事は強調します。

その言葉を裏付けるとおり、同法人では、経営の透明性を高めることで資金調達を円滑にしようと、2003年12月には、日本格付研究所の長期優先債務格付け「BBB」を取得し、日本の医療法人としては初めてとなる結果公表を実施。09年2月には「BBB+」に、医療法人として初の格上げとなりました。05年には海老名地域の2病院の外来機能を担う外来棟を開設し、2病院、1診療所でカルテを一元化する合理的な運営モデルを構築するなど、医療の質と患者サービスの向上を目的に、経営基盤の充実にも力を入れています。

「現状の課題は医師と看護師の確保です。これを実現するには医療従事者が魅力とを感じる病院づくりが不可欠。医療機能を高めることに加え、法人全体では医師と看護師採用に特化した人事戦略室を設置し、人材の確保、定着に向け、福利厚生制度の見直しや、透明性・客観性のある人事制度への改定も行っています」と田島理事は語り、こう続けます。

「優遇措置のある社会医療法人の社会的責任は重いと感じています。この責務を法人全体に浸透させ、いずれは風上となるようにしていければと考えています」

今後も社会医療法人として安定した医業経営の実現と地域や住民や医療機関からの信頼の獲得をベースに、地域から必要とされる救急医療等確保事業を中心に保健・医療・介護機能の充実に努め、さらなる発展をめざしていく方針です。

施設データ

**社会医療法人  
ジャパンメディカルアライアンス**

海老名総合病院(左写真)  
〒243-0433 神奈川県海老名市河原口1320  
TEL.046-233-1311 FAX.046-232-8934

東埼玉総合病院  
〒345-0025 埼玉県北葛飾郡杉戸町清地2-2-11  
TEL.0480-33-1311 FAX.0480-32-5210

【関連施設】  
海老名メディカルサポートセンター、海老名メディカルプラザ、清地クリニック、ヘルスサポートセンター、介護老人保健施設「アゼリア」「コスモス」、居宅介護支援事業所「ケアネット東埼玉」「ケアネット海老名」、訪問看護ステーション「海老名総合病院訪問看護ステーション」など

【関連法人(社会福祉法人ケアネット)施設】  
特別養護老人ホーム「はなみずき」「さつき」「シェモア」、認可保育所「わかば保育園」「すこやかハウス」